

— 情報と社会を結ぶ、これからのクライアント運用管理へ —

SKYSEA Client View

スカイシー クライアント ビュー

Ver.6

[技術資料]

— データ容量算出 —

資料をご利用の際には Webサイトをご確認いただき、最新の技術資料をお使いください

資料の目的

(2011/07/11 更新)

- ・ SKYSEA Client View の各機能において、サーバにて必要になるディスク容量を算出するための資料です。

データ容量算出 — データサーバ —

[技術資料]

■ディスク容量構成 (データサーバ)

- A. 操作ログ** = 1MB × 端末台数 (台)
※1日あたりのログを1MBで計算
- B. 画面録画** = 20MB × 録画時間 (時間 / 日) × 端末台数 (台)
※1時間あたりの画面録画ログを20MBで計算
- C. サーバ監査** = 2MB × アクセスユーザ数
- D. モバイル端末** = 100KB × モバイル端末台数 (台)

$$\text{合計} = (\text{A} + \text{B} + \text{C} + \text{D}) \times \text{保存日数} \times 2.6 \text{ (基準値)}$$

■補足事項

- ・1日あたりのログ容量は、操作内容により変動します。
- ・操作ログの想定値1MBは、事務作業などの一般的な業務で、1日8時間稼動した場合の想定容量となります。
- ・クリップボードログ、送信メールログは考慮しておりませんので、それらをご利用になる場合は、想定ログ容量を変更した上で計算をお願いいたします。
- ・画面録画の想定値20MBは、参考値になります。録画対象画面での画面変動の大小により、容量は変動いたします。
- ・基準値の内訳は、ログ想定容量の余力値として1.3倍、障害時などのデータ退避領域として2倍を見込んでいます。

データ容量算出 — マスターサーバ・ログ解析サーバ —

[技術資料]

■ディスク容量構成（マスターサーバ）

必要容量 = **80GB** 以上

※内訳参考値

資産情報 = (資産情報:30KB + EXE 一覧:270KB) × 端末台数 (台) × 2.6 (基準値)

■補足事項

- ・ 資産情報の他にソフトウェア配布、Window 更新設定のプログラム、ワンタッチレポート解析データも保存されます。
- ・ 資産情報の想定値は弊社想定容量です。
- ・ 端末にインストールされるアプリケーションなど、構成により変動します。
- ・ 基準値の内訳は、資産情報想定容量の余力値として 1.3 倍、障害時などのデータ退避領域として 2 倍を見込んでおります。

■ディスク容量構成（ログ解析／レポート用サーバ）

必要容量 = **2MB** × 【保存月数 + 1】 (月) × 端末台数 (台)

※計算した必要容量が 40GB に満たない場合は、40GB 以上を見込んでください。

■補足事項

- ・ 各レポートのデータ最長保存月数は、ログ解析 13 ヶ月・レポート 37 ヶ月となります。
- ・ 必要容量の算出に使用する保存月数は、いずれかの長い期間を利用してください。

データ容量算出

ーモバイル情報収集サーバ / モバイル情報中継サーバー



[技術資料]

■ディスク容量構成（モバイル情報収集サーバ）

必要容量 = **40GB** 以上 管理端末が 1000 台以下の場合 **20GB** 以上

■補足事項

- ・ 1 モバイル端末 1 日あたりに収集するデータは 100KB を想定。
収集したデータはモバイル情報中継サーバを介し、マスターサーバやデータサーバに格納します。

■ディスク容量構成（モバイル情報中継サーバ）

必要容量 = **20GB** 以上
※管理端末による変動はありません。